

磐城時報

編輯 磐城時報編輯部
印刷 磐城時報印刷部
發行 磐城時報發行部
電話 磐城時報電話部
地址 磐城時報印刷部
電話 磐城時報電話部

縣内隨一の巨刹 赤井薬師灰燼

山頂水利なく消防組が拱手 大森林は幸いに鎮火...

お龍燈で全国的に知られる縣下灰燼に歸した大伽藍は六間四方の一の名刹赤井薬師の山頂高六十九尺の本堂、間口九間、山常福寺本堂屋上から昨日午後七時客殿二棟、十七間に十前十一時頃突如火折柄の烈風間の庫裡二階建、薬師堂、常福に煽られて猛烈に燃え上がり、間々間々、お龍堂、表門、廻廊、に本堂、庫裡、客殿の全部を焼燼し同午後二時半さしもの大伽藍も全部灰燼し歸した。急報により平署から横山署長以下消防組五十餘名、地元赤井、平窪永戸、箕輪、澤渡、小川の附近菊花齋の明治節體育會、恒例の消防組が駆けつけ消火に努めたが、平町青年團主催の内分對抗隊山頂とて水利なく拱手して其の傳説争は昨日三時行われた、午炎上を見守るばかりで仁王門か後一時四十分大町警署無蓋會ら更に千古の大杉森に燃え移つたが幸いに前記消防組の努力で三時鎮火した。

第十六區チーム優勝

昨日の分團對抗賽競争 猪狩君の奮闘強豪を一蹴して

昨日の分團對抗賽競争は猪狩君の奮闘強豪を一蹴して、十六區チームが優勝した。試合は午後七時開始、猪狩君は先発として出場し、前半から活躍し、後半には更に奮闘し、最終的に強豪を一蹴して優勝した。試合は非常に熱戦となり、観客も大勢集まり、盛り上がりを見せた。

芥焼から

出火原因は

巨刹赤井薬師の出火原因は四が、東京都本山から大僧正純純法師が歸山するので三日早朝から境内の大掃除をなし塵芥を焼いた際折柄の烈風で本堂屋上に飛火したものと判明した。

損害は五十萬

鳥有の十一棟

損害は五十萬、鳥有の十一棟。火災による被害は計五十萬に達し、鳥有の十一棟が焼失した。被害者は大勢集まり、慰問活動が行われた。

寶物は無事

赤井常福寺は今日より千三百年前の開基弘法大師作の大黒天像を始め多数の寶物を有してゐるが幸いに劫火の厄を免れた同寺は海抜五千尺の山頂近くにあり明治十一年二月出火金山鳥有に歸した事があり、仁王門は工費六萬七千圓を投じて去る昭和四年竣成したものである。

病夫と六人の子を棄て 若い燕と戀の道行

女教員上りの不貞の妻が 説諭をされた翌日

平町胡澤澤居住田町三三三三屋隣に司法代書人の事務所を有する元小學校長佐川鶴松の妻トメ(三〇)は昨日三日夫の遺給証書と實印を持出し中風で病臥中の夫鶴松と十六を頭に六人の子を置き去り同家に寄偶中の舊日労働系左翼闘士武田貞雄(三〇)と手に手を取つて道行きと洒落込んだので不貞の妻が子供が可愛想だから是非探して下さいと夫鶴松から平署に捜査方を願出た武田の郷里米澤市に向つたらし形跡があるので目下米澤署に照會捜査中、十歳も年下の若い燕と墮落したトメは女教員上り二三年前から夫が病臥してゐるので女ながら代書業を續けてゐたが子供が多いところから今春頃から前記武田を筆生に雇入れ自宅に同居せしめてゐる中情を通じたもので近隣の風評卑らなで墮落の前日平署高等課では兩名を呼出し懇々説諭を加へて別れる事になつてゐた

濱三郡陸上選手権大會

入山炭礦主催來十二日

湯本町入山炭礦競技部主催濱三郡陸上競技選手権大會は來る十日午前五時から入山グラウンドで舉行する事になつたが、當日の競技種目は、トラック百、二百、四百、八百、千五百、五千米、八百千六百、十哩、マラソン、フキルド、砲丸投、走中跳、走高跳、三段跳、棒高。

平町會

平町會は既報の通り今日午後三時、皇太后三陸上天機に氣嫌奉伺及び朝香宮家に御弔電の言上及び宮家別當へ發電の件を満場一致で決議長井上茂作の名を以て發電、直は本議に入り既報部計案實施の件を可決後、佐々木龍若實内正一外廿六名賛成署名の古川改修工事促進の件を附議可決した。

四倉の心中未遂

悲戀に哭く年増藝妓と 二兒あるセメント職工が

料亭の奥座敷で

四倉町警署セメント工場機械職が本間には妻との間に二兒がある工本間勝利(三二)は今春頃から暗れて添えないのを悲觀し去同町柏屋旅館小湊宗次郎方抱き月十五日頃二人手に手を取つて妓小光(二八)と馴染を重ねてゐた前に舞戻つて來たので家人が發

戒中する一日午前一時頃勝利は同町柏屋旅館大漁亭で小光と落ち合ひどうせ添えない二人なら心中の相談が出来たので細繩で先づ女の首を巻付け絞殺し様としたが細繩が切れたので痛さに堪えかねた小光が逃げ出した為め男は其の後を追つて戸外に飛出したのを密行の四倉署員に取押へられたが男は殺人未遂か自殺幫助罪を成立するので目下引續き取調中。

鈴木代議士歸る

鈴木辰三郎氏は三日午後四時三十分着車

鈴木辰三郎氏は三日午後四時三十分着車、五日午後一時二分で再度東京の豫定

農作物品評會

上小川村農會主催農作物品評會は昨日

午後一時二分で再度東京の豫定

十七區分團

平町第十七區青年分團

役員改選、役員改選の結果分團長長田千代松、副團長大山庄松、同真弓滿助の諸氏當選した。

民政同志會決議

平町民政同志會では三日午後一時から平町民政クラブに總會を

開催、新川改修工事の促進、平町国道舗装道路實現促進の二項を決議支部を經縣に提出する事になつた。

新刊紹介

「磐城公友」創刊號出來、定價金二十錢、主幹吉田五平氏で青沼町長、横山署長、比佐鈴木兩代議士、井上縣議等の創刊祝辭其他豊富な内容を有してゐる。

四倉管下 組頭會

四倉警察署管内二町四ヶ村の消防組頭會は四日午前十時より同署會議室に開催し左の協議をなした。

- 一、火災豫防に関する件
- 二、各組の秋季検閲日取及場所決定の件
- 三、消防用機械器具手入の件
- 四、消防精神涵養に関する件
- 五、水利調査に関する件
- 六、警備信託に関する件
- 七、防火運動實施計畫の件以上

▲所得税好績 第三種所得税第二期納税成績は滞納僅に五人合計六十八圓十四錢(平町を除く)で前年の約半減である。

▲小川江筋組合では八日午前十時から平町團休事務所樓上で臨時組合幹部會を召集追加更正豫算、外二件を協議する。

▲四倉驛客貨 四倉驛十月分取扱件数左の如し。

貨物發送一萬一千二百二十二噸
同到噸數一萬九千〇四十五噸
同發送貨金三萬五千五百三十三圓三十二錢、乘車人員一萬一千九百八十八人、降車人員一萬一千七百八十八人、乘車賃金三十四萬六千八百四十六錢、手荷物發送個數四百〇七個、同到着個數三百六十二個
小荷物發送六百八十二個、同到着二千二百二十九個、手小荷物發送貨金二百八十七圓七十八錢。

▲四倉郵便成績 四倉郵便局十月分成績左の如し
貯金受入口數一千二百四十二件、同拂出口數五百九十八件
受入金額二萬九千五百五十八圓三十九錢、同拂出二萬九千四

百八十一圓四十九錢、爲替受入四百二十三件、爲替拂出四百八十二件、同受入九千二百三十一圓七十八錢、同拂出一萬三千五百二十五圓九十九錢

自轉車泥

前後十數臺

昨日檢舉さる

平町大工町居住同町三丁目生れ前科放火二犯遠藤軍治(二八)は去る二日午前十時頃四倉町小學校前氏名不詳雜貨店頭に於つた自轉車を窃取内郷村宮地内賣拂はんとしたのを平署宗像佐藤兩巡查に逮捕されたが、安藤部長の嚴重な取調で去る廿一日小名濱字古港松水秀吉方から自轉車一臺を窃取内郷村宮地金坂難波醫院。

案内欄

貸家

○平町長橋町川端六、八、四半疊
三間新築一戸建、(内水道風呂場付)

○同 六、八疊 (同上)

○同 六、四半疊 (内水道付、同 六、六、三疊 (内水道風呂場付) 一戸建)

○全部勤人向、面談を乞ふ
家主 平町鍛冶町 草野質店

求人

○子守 十六七歳より平町大町難波醫院。

支那そば
なべやき
天どん
親子丼
しるこ
ざるに
五五錢



生そば 平町四丁目 十一屋
電話三七三番

内科 小兒科
花柳病科
藤沼醫院
(入院應需)
平町紺屋町
電話平園五〇七番

磐城名産 御土産用 やなぎ
いか鹽辛。鯉鹽辛。鯉節
平町土橋
鈴藏魚店
電話六六二番

腸胃 性病
内科
胃腸病科
花柳病科
性病科
皮膚科
婦人科
門專
院醫科性病胃腸村松
(番七〇一電町南町平)

耳鼻喉科専門
平町田町七十番地
山内醫院
醫學士 山内亨吉
入院隨意 病室完備
電話六九一番

看護婦會
會長 清野キヨ
平町字南町 (電話三〇七番)
看護婦派出の需めに應じます

貸家
○平町字長橋町新川端新築一戸建
六、八、四半疊三間(内水道、風呂場付)
○同 番地 六、八疊(内水道、風呂場付)
○同 番地 六、四半疊(内水道付)
○同番地 六、六、三疊(水道風呂場付一戸建)
以上勤人向
平町字鍛冶町
草野質店
電話八八番
御希望の方は御面談下さい

ゼブラ自轉車 代理店
宮田自轉車
エビスヤ自轉車店
電話六六四番
遞信省御用

石炭
コークス
豆炭
氷室
水野石炭商店
平郵便局通り
電話二九九番
平町田町(電話五一三番)

高久病院
醫學士 高久忠
新潟醫學士 赤羽清
藥劑士 佐竹菊雄
内科小兒科 外科花柳病科
耳鼻咽喉科 レントゲン科